

補聴器特性測定

測定目的

- (1) 補聴器の性能を測定する
- (2) 補聴器の状態を把握する

フィッティングに用いる

調整後の補聴器の特性を記録する

90dB最大出力音圧レベル
最大音響周波数レベル
規準周波数レベル
音質調整器の効果
出力制限装置の効果
等価入力雑音レベル
全高調波ひずみ

補聴器の性能の測定

「規準の状態」

音質調整器は規準の音質の位置
(Nの位置)

出力制限装置はその作用の位置が
最小の状態

90dB最大出力音圧レスポンス

規準の状態、利得調整器を最大
入力音圧は90dB

補聴器が出し得る最大の
出力音圧にほぼ一致
聴器障害の可能性を判断

最大音響利得周波数レスポンス

規準の状態、利得調整器を最大
大
入力音圧は60dB

難聴の程度に応じた
利得がえられるか

規準周波数レスポンス

規準の状態：全ての調整器を解除

規準の利得：60dB入力音圧で1600Hz（または2500Hz）
が90dB最大出力音圧レベルより15dB低い利得の位置

補聴器の代表的な特性

音質調整器の効果

規準の音質

低音強調

高音強調

音質調整器

ダンパー

バント

ヤホン

出力制限装置の効果

不快値を超える大きな音による不快感防止

等価入力雑音レベル

補聴器の内部から発生する

雑音のレベル

全高調波ひずみ

入力音と出力音の差

補聴器の状態を把握

フィッティングのための測定

調整後の補聴器の特性を記録する

入力音圧レベル 90 dB

入力音圧レベル 60 dB

高調波ひずみ

イヤモ - ルド

オ - ダ - メイドの耳せん

ハウリングの防止

補聴器やイヤホンの固定

音響特性の調節